

月例金曜講話

平成29年度テーマ

知恩報恩 ～思いやり～

講話日程 入場無料

平成29年4月～平成30年2月の毎月第1金曜日
(1月はお休み、5・11月は第2金曜日)

12時30分～15時30分

● 12時30分～13時30分 信行会

● 14時～15時30分 講話 変更する場合がございますので
事前にお問い合わせ下さい。

4/7 (金)

松茸山の思い出 ～行くべきか、行かざるべきか～



大阪府 真如寺住職・常任布教師
植田 観樹 (うえだ かんじゅ)

裏山はかつて松茸の宝庫でしたが、近年は一本も出ないという状況です。しかし昔を懐かしむ祖母は自分が歩けないだけに、あのポイントに行けばある。と私をけしかけます。行くべきか？ どうすればいいのか？ 行動＝行について考えてみます。

5/12 (金)

朗読&トーク・名ゼリフで綴る 『日蓮さまのお心に聴こう』



俳優
嵐 圭史 (あらし けいし)

「ご遺文」にみる日蓮聖人のお心の真髄を、多くの人々にお伝えしたい。温もりに包まれた廣大無辺の世界を柔らかく、聴く人々の胸に深く染み入る“朗唱”を心ゆくまで。

6/2 (金)

ここでお会いするの 何かの縁

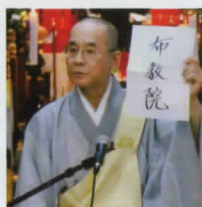


講師
神田 蘭 (かんだらん)

講師は総勢70人。このような狭い門をくぐったのも、いろんな出会いご縁があったから。そして今もたくさんの方々と出会い支えられ生きております。講話の演目は「応挙の幽霊」です。

7/7 (金)

毒薬を飲んだ子どもたち



兵庫県 妙興寺住職
倉橋 観隆 (くらはし かんりゅう)

「法華経は荒唐無稽な喩え話」と言われることがあります。しかし、そこにこそ現代人の生き方のヒントが秘められているのです。その答えを皆様と共に探してみたいと思います。

8/4 (金)

仏教と音楽



埼玉県 圓受院住職・日蓮宗仏教讃歌協議会会長・布教専修師
田島 辨正 (たじま べんしょう)

真心を込めた歌声や、堂内に響き渡る唱題や読経の声は、私たちの魂を大きく揺り動かし、報恩感謝の思いを深め、思いやりの気持ちを広げていくのです。

9/1 (金)

いのちに合掌



埼玉県 妙昌寺住職・布教専修師
村井 惇匡 (むらい じゅんきょう)

出家の動機や子ども道場、少年刑務所で出会ったさまざまな「いのち」。多くのご縁の中で気づかせて頂いた「いのち」のお話です。

10/6 (金)

いのちに合掌 ～私は身延山大学で考えた～



東京都 修性院住職・身延山大学長・常任布教師
浜島 典彦 (はまじま けんげん)

私たちはどこから来て、どこへ行くのでしょうか。私たちの「いのち」とは、一体何なのでしょう。お釈迦さまに、法華経に、日蓮聖人に尋ねたいと思います。

11/10 (金)

慈悲広大な心を



東京都 長昌寺修徒
小宮 昌世 (こみやま しょうせい)

思いやりとは思い合うこと。思いやることも、その思いを受け取ることも、誰もが持っている仏の種に気づけば自然と湧いてくるものです。

12/1 (金)

施す。人生悉く (ことごとく戴きもの)



静岡県 円惠寺住職・常任布教師
塚本 智秀 (つかもと ちしゅう)

其中衆生 悉是吾子 この身体自分のものでありながら自分のものでない。自分の思うようにならない。なにかの世話にならなければ生きていけない。

2/2 (金) 平成30年

compassion ～思いやりを科学する～



栃木県 浄土宗光琳寺副住職・hasunoha共同代表・寺子屋ブッダプログラムディレクター
井上 広法 (いのうえ こうぼう)

いま、「思いやり」が、海外の臨床心理の現場で見直され始めているそうです。この「思いやり」を最新の知見を織り交ぜながら仏教と科学の両面から解説させていただきます。